

し、すっきり



梅雨を前に 身の回りを快適に

季節の変わり目。本格的な梅雨がやって来る前に身の回りをすっきりさせませんか。厚手の冬布団や部屋のカーテンをしまつには、今がベストシーズン。片付ける時のコツを聞きました。また、衣替えはしたものの、サイズが変わったりして着られなくなった夏服の活用方法も調べてみました。

(太田敦子)



カーテンの手入れ

春から秋にかけては、カーテンの洗濯にとっても最適な季節だ。最近では洗濯機で洗える素材が増えているが、レールから取り外したカーテンをいきなり洗濯機に放り込むのは禁物。「まず、ほこりを取ってください」。長岡京市でカーテン店を営む伊藤了太さん(43)が教えてくれた。

特に、窓側につけるレースカーテンは、外気の汚れに対してフィルターの役割も果たしているだけに、ほこりが積もっている。「型くずれを防ぐためにも2人での作業が理想的。1人がカーテンのひだの部分を持ち、もう1人が棒などでほこりをたたき落とす。これだけでかなり

脱水後すぐに干す つるしてシワなく乾燥

きれいになります」。生地を傷みを防ぐためにも洗濯は年に1度程度にとどめておいた方がよく、普段はほこりを落とすだけで十分という。

洗濯機で洗った後は、すぐに干すのが鉄則。「放っておくとシワができてしまいます」と伊藤さん。暖かい季節なら、脱水後はぬれたままで元通りにつるせばOK。窓を開けておけば風にあたってきれいに乾く。

伊藤さんによると、上下に開閉する「ブレースシェード」も7~8年前から家庭での普及が進んでいて、こちらも、洗える生地なら家庭で簡単に洗濯できる。「レールに面ファスナーで留めている商品がほとんどなので、簡単に取り外せます」。実践してくれた。裏側を見ると、シェードの開閉を支えるコード

ブレースシェードの面ファスナーは外すことが可能だ(長岡京市・ジョイリビングイトオ)

風通しのよい部屋で古い出してやるとよい



並んだスリフト

衣替え

衣替えで出してみたもののサイズや趣味が合わなくなっていた夏服を前に途方に暮れちゃう場合も。たんすの肥やしまったり捨ててしまつ前に、かの人に着てもらつという方法もある。35年前から続いている京都YWCA(上京区)のスリフトショップを訪ねてみた。

も簡単に取り外せそう。面ファスナーとコードを外せば、一枚の布に戻る。「あとはカーテンと同じです。一度乾かしてから再度つるしてください」。安価なカーテンなら、数枚用意して季節にあわせてつけかえるのもいい。シーズンオフのカーテンを片付ける時も、ほこりを取っておくだけで十分。「ひだの部分で折られたんで上と下、真ん中の3カ所ぐらいをひもで縛つて片付けておくと、ひだが伸びてしまわず、もう一度つるす時もきれいです」と伊藤さん。ただし、タバコのヤニやカビなどの汚れは落ちないと思つたほうがよい、という。「家のように何十年も使えると考えがちですが、カーテンの寿命は10、15年と考えるともらったほうが良いかも」